

山形県立図書館／ネット鼎談「未来の図書館を考える」

未来の図書館を考える

2021年2月14日



クリエイティブコモンズライセンス
この資料は右のクレジット表記により
ご自由にご利用いただけます。



前川道博
公立大学法人 長野大学

本日のネット鼎談 みんなで考えよう！未来の図書館

そもそも図書館って？



デジタル社会へのシフト
本来の図書館を考え直す絶好のチャンス

前川道博
(長野大学)

ネット鼎談 + Q & A + 意見交換

山形県立図書館
ビジョンとこれから

菅野亮一館長

県立長野図書館
ナレッジスクウェアGP

森いづみ館長

ネットから参加されて
いる皆さんと！

自己紹介：前川道博(まえかわ・みちひろ)



記憶の記録

失われてわかる記録の大切さ
わたしの／あなたの／みんなのアーカイブ

出身地：茨城県かすみがうら市 現在：長野県上田市
1992～2005 東北芸術工科大学勤務、山形市在住
専門：メディア環境学

地域の情報発信、地域デジタルアーカイブ

<https://mmdb.net/maekawa/>



今いる地域：長野県上田市



晴天と上田城跡



長野大学



真田氏



カイコの卵

私と図書館の記憶 小学生から大学院まで



**日本初の農村モデル図書館として創設
茨城県出島村立図書館（1962～） 撮影は1997
移動図書館 小学生時代に利用
村立は 小学生から高校生まで利用
一番図書館を使ったのは学生時代**

地域の記憶LIB『マッピング霞ヶ浦*』

- ・ 1997年～ 24年、多く図書を参照した成果

地図

地域書籍

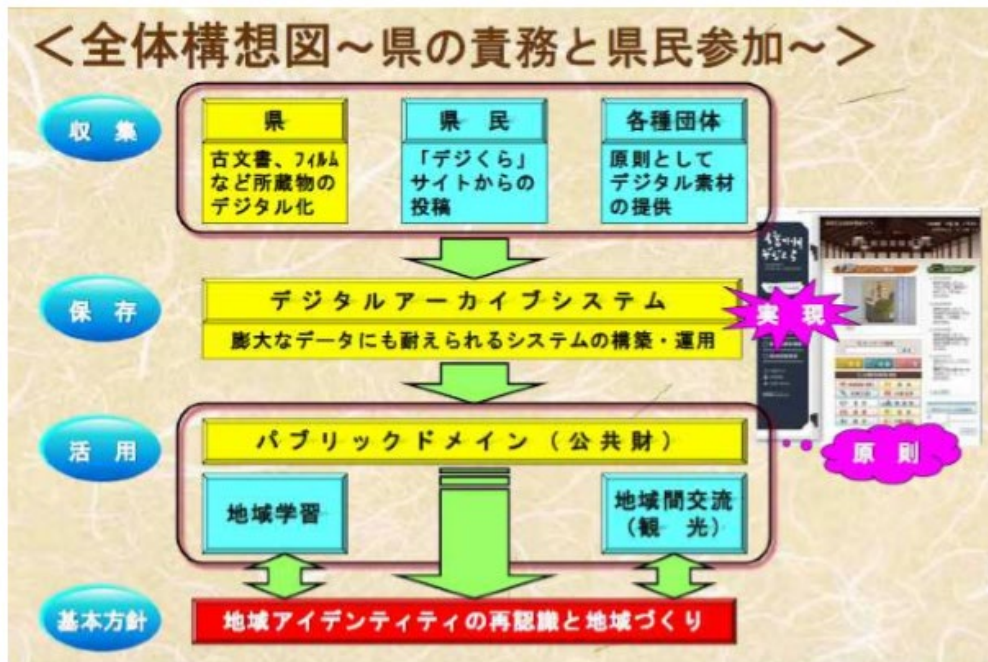
欠かせなかった図書



このサイトも図書 (LIB) <https://kasumigaura.net/mapping/>

長野県デジタルアーカイブ事業への関与 県民（学習者）に寄りそったアーカイブ構築

- ・ **長野県事業**（2009年度～）にアドバイザーに関与
 - 長野県デジタルアーカイブ推進委員会委員長
- ・ **MLA連携**を推奨実践
 - M:博物館、L:図書館、A:文書館（Archives）
- ・ 支障ない限り**パブリックドメイン**で（公共財として）リソース公開

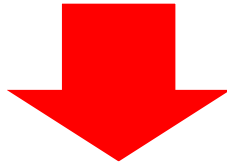


＜デジタルアーカイブの意義＞

- 「集団知」としてのアーカイブ
より高い知的レベルへの到達（文化の共有・流通）
- 「地域文化の体系」としてのアーカイブ
新たな文化創造の可能性（再発見・再認識、異分野の融合）
- 「文化伝承メディア」としてのアーカイブ
地域アイデンティティの再認識（「情報財」への資源化）

あれから10年、さらに重要性を増した 学習者（県民）ファースト、デジタルコモンズへの期待

- 全国的に前進が鈍いMLA連携 → MALUI(大学+産業界)
 - 施設中心の体制(レジーム)では変わらない → 変える
- 公共財としてのリソース価値の増大 → 書籍よりデジタル
- 問われてきた図書館の存在意義 → 「未来の図書館を考える」
 - 否応なしに直面したコロナ禍直撃の課題
 - 図書館の貸借サービス以外何もない？



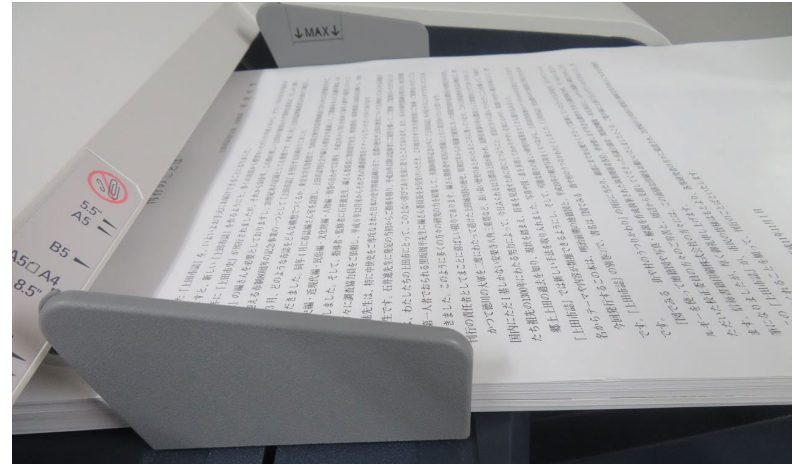
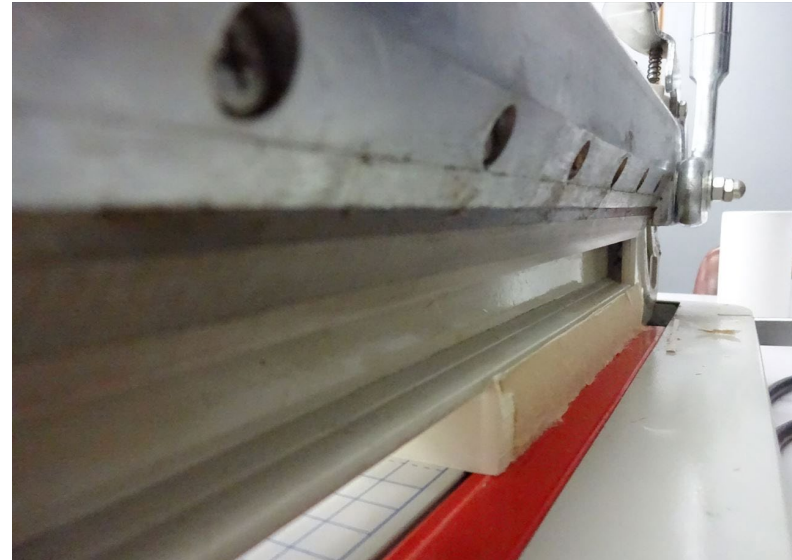
何のために図書館は地域にあるのか

そもそも図書館は誰のために？

うーん、県民！



図書、今は。。。自炊



紙媒体からデジタルへ 物理的媒体からの解放



研究室は図書倉庫
紙媒体の物量に耐えられない



スマートな断捨離

タブレット1台で多目的に
コンパクトすっきり、ネット活用

社会構造の大きな転換

・ 知識消費型社会から知識循環型社会へ



グーテンベルク（複製技術）銀河系 知識消費型社会

グーテンベルクの銀河系

活字人間の形成

M. マクルーハン 森 繁治訳 小寺 啓彦

in lucis rursus
prohibi pauli
Explicat argu
ad hydros
phare mltidig
is olim deus
is pectibus in
breis: nouille
rta ihys locu
nobis in hlio
urdoxiz qui
stende ptoac
potamiz oia
ramonit ptoas
Eccā mancha
ex ampelis et
is pre ihys no
i dunt aliquā
re ut ego ho
Ego ro illi i
in filii. Et cū
panti in cōtē
in omniro au
quidem dicit
prouis: re mi
prou. Ad filii
is in fructum
is: ptoas tui.

- ・ 印刷術の発明
- ・ なぜ図書館は巨大化したのか

愛知県図書館



図書館は恐竜のヘッドと胴体 複製物で絶えざる肥大化

ヘッドと胴体
(二次情報群)

ロングテール
(一次情報群)

図書館

開架(一般)

閉架(一般)

閉架(貴重書)

一般の文書

主たる収蔵資料

書籍=通説
(知識のアウトプット)

知識の源泉

担い手:研究者など

知識の受け手
(一般市民)

通説受容

デジタルアーカイブ
(ネット公開)

活用・新たな
知識の創造

図書館に行っても通り一遍の
知識しか得られない

デジタルなダイエツト銀河系 知識循環型社会



- ・ 自宅から、いつでもどこでも
- ・ かさばらない(モノがない)
- ・ ナレッジ再利用、学習促進

うーん、ダイエツト！



たとえば

国立国会図書館
National Diet Library



これまでの社会では…

図書館だけでなく、施設はさまざま

博物館



公文書館



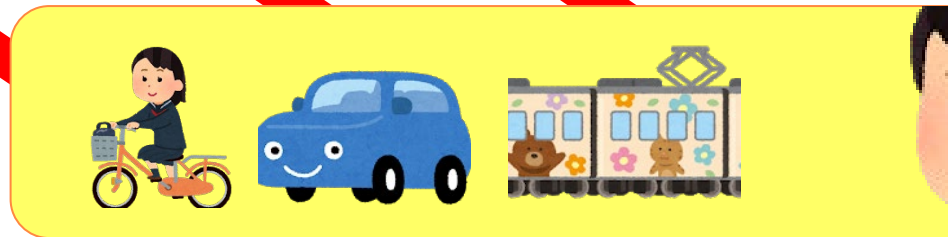
図書館



大学



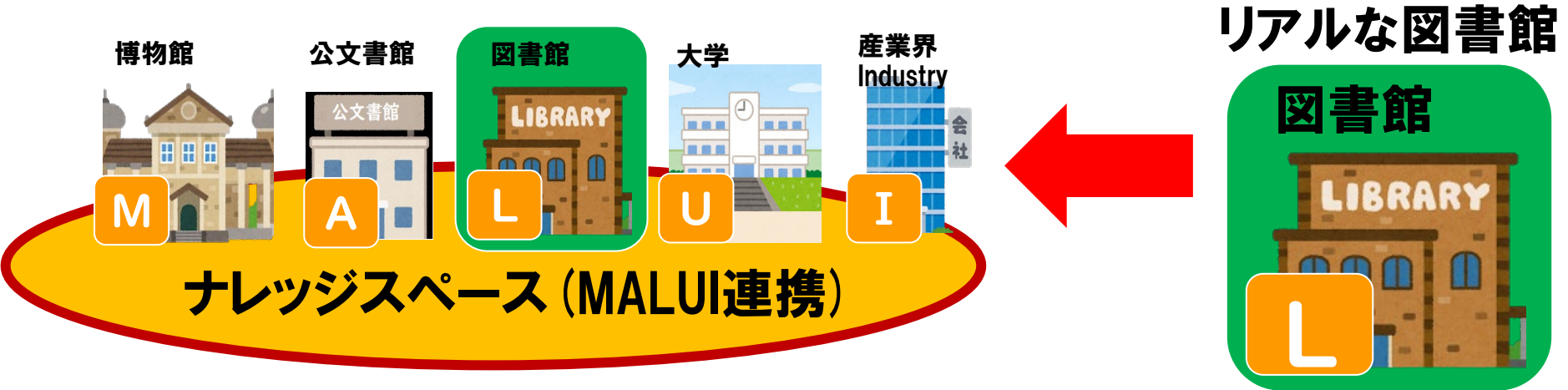
産業界
Industry



- 施設がありき
- それぞれに赴き学習する

これからの社会では…

知の再編が起きる 図書館はどうなる？



- ・ 学習者中心 (アクセス側の主体性) 変える
- ・ 思うがままにアクセス！



変える
楽しむ

みんなでつくる
未来の図書館

隠れていた図書館本来の役割を引き出す・育てる

新しい地域学へのいざない

21世紀:知識循環型社会(ソサエティ5.0)

の時代における知の再編

学問分野の
学際的再編

世代間での
知識文化伝承

地域を担う
次世代の育成

新しい地域の学び



地域デジタルコモンズ



信州上田デジタルコモンズ

(ネットを介した信州上田の学と学びの共有空間)

地域の知識と文化

デジタルアーカイブ(資料)
(蓄積資料群とコミュニティ)

地域の知・データ

地域の研究グループA

地域の研究グループB



地域資料アーカイブ

「地域〇〇史」等基礎文献

地域資料所蔵団体A



知識・文化の伝承＝興味・視点を喚起

みんなでつくる信州上田デジタルマップ
<https://d-commons.net/uedagaku/>



(ネット上の本棚)

知識・データを棚上げて



図書も

デジタルデータも

地域の皆さんが

棚卸し(閲覧・活用)

家・図書館・どこでも
PC・スマホいつでも



地域・全国・世界の人へ

地域学習&ポートフォリオ

学習コミュニティ(活動)
(カレント&エントリー)

地域学講座2021

Aさんサイト

Bさんサイト



講座A

1さんサイト

2さんサイト



講座B

あ活動サイト

い活動サイト



持続的に活動し地域の知を創造、次世代育成

「私の地域探求」 問いを立てる。探求を楽しむ。ネットでシェア



自ら考え、調べ、知識化したことを公開展示



地域の歴史や特性
あなたが問いを立て探求

公文書等から探り、探求成果
をネット展示します。

キュレーション型学習

問いを立て



一次資料は発見の宝庫
行動して現地から探る

知識に高めて



新しい発見
探求成果をネット公開

皆と分かち合う



多くの方が役立てる
末長く後世に残せる

情報源が一次情報だから「オリジナルな研究」に！

面白くてやめ
られない探求

(主体はアクセス側)

本当に面白がれる学びで
「地域学」にチャレンジしよう！



下諏訪町立図書館＝地域のcommons 町民参加で地域の記憶を可視化

文化・歴史 | 資料・文書 | 温泉・観光・食 | 自然 | 美術館・博物館

トップ > 文化・歴史 > スケート

スケート

トップにもどる

- 地図で見る
- 情報をさがす

検索

- キーワード

スケート 日本刀
改良三本刃 小学生
下駄スケート

同じキーワードを持つ記事

コスモス街道

スケート



画像ダウンロード

下駄スケートで滑る小学生、先頭は改良されたスピードの三本刃、後方は最初の日本刃のスケート。

- 地元の古い写真1500点が起点
- 職員がメタデータ作成
- 「歴史文化」などのカテゴリを設定
- 町民参加
＝アクセス側が主体



<https://d-commons.net/shimosuwa/>

みんなで考えよう！未来の図書館

隠れていた図書館本来の役割を引き出す・育てる
アクセス側(利用者)が主体＝あなたがつくる！

みんなでつくる
未来の図書館

山形県立図書館
ビジョンとこれから

県立長野図書館
ナレッジスクウェアGP